

節約して安い店探し

被されたくらし

新自由主義の現場から

物価高騰や新型コロナウイルス感染拡大の第8波は国民生活に深刻な影響を与えています。東京都台東区のハローワーク前で、職を探す人や手続きに訪れた人たちに、いわじりょうすと政治への願いを聞きました。（井上祐大・武田祐一・西森知弘）

ハローワーク前で聞く

25日、就業した街路樹の下、個人の持続で採用を判断すべきものと、職を探す人たちに、いわじりょうすと政治への願いを聞きました。

25日、就業した街路樹の下、個人の持続で採用を判断すべきものと、職を探す人たちに、いわじりょうすと政治への願いを聞きました。

男性は、専門データベースの管理をしており、手取り月12万円ほどあります。今は賃貸交換部課で学生ながら、雇用保険と障害年金、親戚からの支援で生活しているといいます。

「次の仕事もウエア・デザインや建築関係の仕事をしたい。年齢や学歴ではな



生活の様子を語るハローワークの利用者（右）＝25日、東京都台東区

コロナ禍から失業 パワハラ受け退職

を受けた都内女性（53）は自分自身の退職の手続きのためにハローワークを訪れたと語ります。これまで正社員として派遣会社で経理や財務の仕事をしていました。

この会社の上司が特定の1人をターゲットに怒鳴るパワハラを繰り返し、これまで何人も退職したと振り返りました。「次の仕事は事務職以外も複数に入れています」

7月の取材で話を聞いた女性（55）に再会しました。女性は他県から通つており、この日は東京都北区に住む40代の慶子の仕事を探すためにきたといいました。慶子はタクシーの運転手をしていたが、今年4月に退職しました。

運転手の仕事は出来高払いの会計制で、生活が安定しない上に乗客からの露西や暴力がひどくやせました。

「慶子は名古屋で就職したけど、その会社が会社にアンケートを提出して、慶子は会社から反省文などの叱責を何度も受け、耐えられなくて辞職したんだよ」

それでも慶子は不安を感じながらも、東京でタクシー業界で働くと教えていた。女性は「政府は、タクシー業界の労働環境改善や運転手の権利を守るために、これまで正社員として派遣会社で経理や財務の仕事をしていました」と語りました。

「私は派遣会社として働き、その後アルバイトに仕事を続ける中で専門的知識を身に付けてきたといいます。物価高騰についても、「節約して少しでも安いスーパーを探してもいいけれど、税金が高いでいるけれど、税金が高いでいるのであるため消費税を減税してほしい」と要望しました。

出張の男性（28）は同僚である30代の派遣会社の退職手続きに来ました。「同僚が退職した理由はわからない」と語り、時給1,000円ですが、「給料が(仕事を見合わず)低いからかもしれない」と答えていました。